

水稻(イセヒカリ)

情報提供：静岡県牧之原市在住 0様 (50269) 2010年11月30日

穂が長く揃い、粒も大きく99%一等米でした。減農薬栽培で「安心して食べられて甘味があって美味しい！」と喜んでいただいています。

**特長**

- 減農薬で栽培することができ、収穫量も年々増加しています。
- 苗の根の張りが良く、水田に移植の際も活着が良く、傷みも無かったです。
- 葉の色が最後まで緑色で、草丈の節間も短く、倒れる心配が無かったです。

**栽培地状況**

- 大井川の西に位置する富士山静岡空港付近の田園地帯です。
- 日当たりが良く、水の使用も自由な100アールの土地で栽培しています。
- 二毛作でレタス等の野菜を作付しています。
- 周辺には茶園やみかん園が多いです。

**施用状況**

<2010年～>

		日付	希釈倍率	施用量
もみ種		4/ 25	1000倍	塩水40ℓにつける
播種		5/ 1		苗箱土に散布
苗に灌水		5/ 10	500倍	40ℓ / 250枚(苗箱)
作物への散布	1回目	7/ 30		150ℓ / 10アール
	2回目	8/ 22		200ℓ / 10アール
土壌灌水		12/ 19	1000倍	
収穫時期		9月中旬		

**生産者の声**

- 春先の凍霜害で被害にあいましたが、スーパーERを散布した場所は復活が早く驚きました。
- 農協指導の水田と比較するとその差が歴然としていて、「何を使っているの？」と尋ねられます。
- 前から購入していただいている方からは「美味しいお米」と評判になっています。また、評判を聞きつけたり、水田の様子を見ていた見知らぬ人が「是非売って欲しい！」と尋ねて来ることなどもあり、驚きでいっぱいです。完売状態で嬉しい悲鳴をあげています。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。